

早稲田大学 教育学部 世界史 講評

| | |
|--------|---|
| 出題形式 | マーク・記述併用 |
| 試験時間 | 60分 |
| 特徴・その他 | 出題形式・分量(記述式10問・選択問題40問の計50問)ともここ数年一定している。2017年に初めて登場した二文正誤判定問題と年代配列問題は今年も継承された。難易度は昨年とほぼ同程度。地図問題は出題されなかった。正誤判定問題の中にはかなり細かいものもあるが消去法でも対応が可能なものが見立った。 |

〔大問別講評〕

| 番号 | 出題内容 | コメント | 難易度 |
|----|--------------------|--|-----|
| 1 | ヨーロッパにおける 国家の歴史 | 古代の都市国家から近代の国民国家まで幅広く扱う。(1)正解はa。ギリシア人植民市とフェニキア都市を分別させるのは受験世界史では定番。(2)正解はb。a.元老院(セナトゥス)は上院を指して使われている。合衆国の例が有名。c.ローマのコロッセウムはティツス帝(位79~81)の建設になる。高校世界史では無名の人物。d.ミラノ勅令(313)はキリスト教の公認。国教化は392年テオドシウス帝による。(3)①・②とも正文。(4)正解はc。プランタジネット朝(1154~1399)とチューダー朝(1485~1603)が先頭と後尾であることはすぐわかるのであとはランカスター朝(1399~1461)とヨーク朝(1461~85)の前後ということになる。バラ戦争(1455~85)の展開から判断したい。(5)正解はa。教科書の地図「レコンキスタの進展」を想起して判断したい。b.コルドバを征服したのはカスティリヤ。c.シチリアに勢力を拡大したのはアラゴン。d.ポルトガルはカスティリヤから自立。(6)正解はc。アルビジョワ十字軍(1209~29)、始めたのはフィリップ2世、終わらせたのはルイ9世。(7)①は誤文。フランチェスコ会の創設は1209年、13世紀。②は正文。(8)①・②とも正文。(9)正解はb。マリア=テレジアの領土継承はオーストリア継承戦争(1740~48)のアーヘン条約(1748)でも承認されている。(10)第一共和政樹立(1792.9)→ルイ16世処刑(1793.1)→第1回対仏大同盟(1793夏~97)の順。設問A:ホルテンシウス法(前287)は易しい。設問B:正解はジェノヴァ。コルシカ島は11世紀にピサの支配が及んだが13世紀にはジェノヴァが支配下におさめた。設問C:ホーエンツォレルン家。 | 標準 |
| 2 | 人の移動 | (1)正解はc。ドイモイはソ連ゴルバチョフ政権のペレストロイカの影響のもと実施。a.カンボジアにソ連の支持を受けたヘン=サムリン政権が成立し、中国が支持するポル=ポト勢力と内戦となった。中国はベトナム懲罰を掲げて軍事干渉(中越戦争(1979))したが失敗に終わった。中越戦争が始まるとベトナム在住の中国系住民が大挙して脱出していわゆるボートピープルとなった。d.ラオスの社会主義政権成立(75)も難民を生んだ。(2)正解はc。a.クウェートに侵攻したのはイラク。b.バグダード建設はアッバース朝2代マームーン。d.ワフド党はエジプト。(3)正解はb。ただし、2020年2月1日に英はEUを脱退している。問題文の「現EU加盟国」ではない。ただ、問題作成時点で年明け2月の動きを推測するには無理がある。b.クロアチア加盟は2013年。(4)正解はc。a.訪中したのはニクソン。b.プラハ演説はオバマ。d.農業調整法はフランクリン=ローズヴェルト。 | 標準 |

| 番号 | 出題内容 | コメント | 難易度 |
|----|---------|---|-----|
| 2 | | <p>(5) 正解は d。ベッサラビアはモルドヴァ公国の一部。(6) ソ連のフィンランド侵攻(1939. 11)→日独伊三国同盟(1940. 9)→日ソ中立条約(1941. 4)→(真珠湾攻撃)→独伊、対米宣戦(1941. 12)となる。(7) 正解は d。a. 西ヨーロッパ連合条約(1948. 3)にドイツは不参加。そもそも西独成立(1949. 5)・東独成立(1949. 10)とも条約以前。c. ルール占領(1923~25)を強行したのはポワンカレ内閣(1922~24)。(8) 正解は d。フィンランドはロシアから独立。(9) 戦略爆撃機(日本や独を空襲した米軍の大型爆撃機など)とジェット機(二次大戦末期に独が実用化)は第二次大戦。(10) ①は正文。②は誤文。移民法(1924)は国別割り当て法とも呼ばれ、東欧・南欧からの移民を制限、日本などアジアからの移民を禁止した。設問A: 白豪主義。移民制限法(1901)で白人以外の移民を禁止した(1972年撤廃)。設問B: ローザンヌ条約。</p> | |
| 3 | 元明時代の中国 | <p>(1) 正解は b。オゴタイは高麗に侵入はしたが降伏には至っていない。フビライは1259年に高麗を服属させた。(2) 正解は d。元は中国の農村社会には干渉せず、貨幣政策を通じて寄生した。(3) 正解は b。サーマーン朝ではなくカラ=ハン朝(940頃~1132頃)が正しい。(4) 正解は d。マラッカ海峡はマレー半島とスマトラ島に挟まれた海峡。(5) 正解は a。朱印船貿易ではなく勘合貿易が正しい。(6) 正解は a。イヴァン3世(位1462~1470)は15世紀後半の君主。(7) 正解は a。王直は倭寇(後期倭寇)の頭目として有名。(8) 正解は c。地丁銀は清の税制、明は一条鞭法。(9) 正解は a。東林派は張居正の政策に反対。(10) 正解は a。『金瓶梅』は明代、『紅樓夢』は清代。『水滸伝』は元代に原型が成立し明代に編纂されてほぼ現在の形になった。こちらは梁山泊に拠って悪政と戦った108人の豪傑の物語。設問A: 徐光啓。設問B: 李自成ともに易しい。</p> | 標準 |
| 4 | インドの歴史 | <p>(1) 正解は c。デリー=スルタン五王朝は配列を知っているだけで得点できる貴重な存在。(2) 正解は c。ムガル帝国を建国したバーブルの出自は父方はチャガタイ=ハン国系王族(異説あり)、母方はチンギス=ハンの末裔とされる。(3) 正解は c。a. ザミンダーリー制は英の政策。b. チャガタイ=トルコ語で回想録を書いたのはバーブル(『バーブル=ナーマ』)。『アクバル=ナーマ』はアクバルの側近アブル=ファズルが記した編年体の歴史書でペルシア語で書かれた。d. ラージプートはヒンドゥー教徒。(4) 正解は b。シャー=ジャハーンはムガル帝国5代皇帝。(5) 正解は b。アムリットサルはシク教の本山黄金寺院で知られるが、高校世界史だとローラット法に反対する集会を英が武力弾圧したアムリットサル事件(1919)が有名。(6) 正解は d。① 1757年(プラッシーの戦い)でクライヴが破ったのは仏とベンガル太守の連合軍。② デュプレクスは第三次カーナティック戦争(1758~63)前に本国に召還されている。(7) 正解は b。ブクサールの戦い(1764)は英とベンガル太守の戦い。勝利した英東インド会社は翌1765年にベンガル・ビハール・オリッサの徴税権(ディワーニー)を獲得。その後、マイソール戦争(南インド)→マラーター戦争(デカン西部)→シク戦争(パンジャーブ)と進む。シク戦争(1845~46/48~49)でほぼ全インドを支配下においた。グルカ戦争(1814~16)をどこに入れるかは難しい。</p> | 標準 |

| 番号 | 出題内容 | コメント | 難易度 |
|----|--------|---|-----|
| 4 | インドの歴史 | (8)正解はd。1885年に開催されたのはインド国民会議。b.クリミナル＝トライブ法(1871)は、反英的抵抗集団を犯罪カーストに指定して差別の対象とするもの。インド古来の伝統を偽装した植民地的分断支配策である。(9)正解はa。非暴力・不服従はガンディーが登場してから。(10)正解はc。インドが支持したの東パキスタン(現バングラディシュ)の独立。設問A:クトゥブ＝ミナール。図説類では必ず登場する有名建築。設問B:パーニーパットの戦い。設問C:全インド＝ムスリム連盟は基礎レベル。 | |

[総合コメント]

記述式の10問は基礎的レベルの出題が目立つ。確実に得点を積み上げたい。今年は漢字名の人物2人とも書きやすかった。書きなれない漢字はとっさには迷うこともあるので普段から書いて覚える習慣をつけておきたい。二文正誤には細かいポイントが判断基準になるものが散見される。正誤判定問題の誤文には教科書的な文章で事実とは真逆の内容になったものなどポイントの見えやすいものも目立つが、中には特定の教科書のみ記載されあまり一般的でない用語(クリミナル＝トライブ法(山川系には記載なし・東京書籍の用語集にはあり))も出ていた。誤文が明白な場合、知らないものをあまり疑っても益は少ない。正しい内容は掘り下げればいくらか出てくるからである。年代配列問題には簡単に四択を二択に絞れるものもあるが、英のインド進出関係のような手ごわいものもあった。せいきなり個々の年代を思い出そうとするより一つでもはっきりした年代があれば選択肢を減らす工夫をしたほうがいい。類似の問題をこなしてテクニックを磨けば実力上の成果を期待できる。